



2025年6月16日発行
第6号
市立札幌藻岩高等学校
53期 1年次通信

第1回定期考査の復習を

第1回定期考査が終わり、結果が返却されたと思います。最初のテストを受けた感想はどのようなものだったでしょうか？がんばった結果が出た人、高校のテストを甘く見ていた人、次はしっかりリベンジするぞと意欲を燃やした人など様々でしょう。定期考査も6月28日(土)に受ける模試もそうですが、復習をきちんとしなければ意味がありません。テストは、覚えていないことや理解できていないことを浮き彫りにするという目的もあります。この後、しっかり復習をして本当の実力をつけていてほしいと思います。



第1回ベネッセ総合学力テストに向けて



6月28日(土)に全員受験の模擬試験があります。(11月と1月にもあります)全国で約45万人が受験する、皆さんにとっては初めての全国模試となります。大学入試に向けて、全国の高校1年生の中での立ち位置を把握する大事な機会です。したがって、目標を持たずになんとなく受験するのではなく、「ここまでは最低限復習して受験するぞ」といったように自分なりの目標を持つことが大切です。もうすでに気が付いているように、高校の学習は難しいので

すぐに結果が出るとは限りません。だからこそ、事前に目標を立てたり、終了後は振り返りをしたりといった取り組みが重要になります。そのために、以下の登録を早めに済ませてください。

① マナビジョン初期登録

配付された流れで行ってください。「学校コード」は01113です。「ログインID」は各自に配付された用紙を見て確認してください(スタディサポートの個人診断レポートにも記載されていますよ)。

生徒用ログインID
学年・組・番号 1年1組1番
ログインID: []
パソコン・スマートフォン共通で利用できます。大切に保管して下さい。

② 志望校登録・目標得点登録

初期登録が終わったら、[成績・学習]をタップし、「進研模試/ベネッセ総合学力テスト」を選択し、志望校の登録と目標得点の登録を行ってください。志望校を設定すると、その学校に合格した先輩が「同じ回の模試で取っていた得点(合計点)」が表示されます。その得点を「どの教科で、何点取るか」に振り分けてみましょう。自分の目標として登録しておけば、学習を進めるための目安になります(その学校に合格した先輩の得点・偏差値は「合格ライン2025(青い冊子)」でも見ることができます。)



※ベネッセが作る進研模試は、100点満点中、平均点が35点程度になるように作られています。だから今まで取ったことがないような低い点数をとってもびびりする必要はありません。偏差値に換算すると、偏差値50=約35点、偏差値60=約50点。偏差値70=約65点が目安です。

以下に今回の模擬試験の出題範囲を示しましたが、定期試験のような明確な出題範囲ではありません。

出題教科	出題科目・範囲	出題方針
国語	[必答問題] ㉑現代文・論理的文章 ㉒現代文・文学的文章 ㉓古文 [選択問題] ㉔漢文 ㉕現代文・実用的文章)より1題選択	現代文・古典にかかわらず、読解力・記述力を問う出題をします。また、古文の文法においては、履修進度に合わせ、用言の活用までの範囲から出題します。
数学	[必答問題] ㉑～㉓数と式(集合と命題は除く)(I) [選択問題] ㉔2次関数(最大と最小まで)(I) ㉕場合の数(順列・組合せ)(A) ㉖図形の性質(空間図形は除く)(A) より1題選択	数と式を中心に出题します。また、基本事項の確認から応用力を必要とするレベルまで幅広い難易度で出題しますので、各学力層の到達度を測ることができます。
英語	[選択問題] ㉑リスニング*) ㉒会話表現)より1題選択 [必答問題] ㉓文法・語法 ㉔長文読解 ㉕長文読解 ㉖表現力	中学校3年間と高校入学後3か月間で学んだことが定着しているかどうかを確認します。文法・語法などの基本事項から長文読解や表現力といった応用力が必要なものまで出題します。また、リスニングも選択問題として出題しますので、低学年から音声面・聴きとり能力についての評価が可能です。

では、どのように勉強したらよいかというと、**日々の授業や課題に合わせた学習に加えて、スタディサポートや定期考査の復習が、そのまま7月模試に向けての勉強**になります。宿泊研修から帰ってきたらすぐ気持ちを切り替えて模擬試験に向けて勉強してほしいと思います。

スマホを1日1時間未満にするだけで偏差値10上がる！



東北大の川島教授が7万人の子どもたちを対象に、数年間にわたって行われた大規模調査の結果を基に、スマホやアプリの使用がもたらす影響を解明した新書が数年前に発売されました。最近では、『スマホ脳』という新書がベストセラーになっています。
「学力」と「スマホ利用時間」の関係

また、NHKの番組でもスマホの影響を取り上げていました(右図)。

このようにスマホを使うことによる悪影響が最近話題になっています。スマホを使っていると家庭学習した分も帳消しになっていることが判明。スマホ、LINE等の使用時間が長ければ長いほど試験の成績は低くなっています。また、スマホをやめたとたんに成績は上昇したようです。川島教授が行った調査の結果によると、スマホを1日1時間未満にすると偏差値が10上がるそうです。今一度使い方を見直しましょう。

